

11月例会は「ジュリエットからの手紙」

例会候補作品をお伝えください

例会のお知らせ

■名称／第57回例会『ジュリエットからの手紙』

■日時／11月22日(火) ①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～。

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■会員の受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



【例会作品データ】

■タイトル／ジュリエットからの手紙

(英題「LETTERS TO JULIET」)

■監督／ゲイリー・ウィニック

■出演／アマンダ・セイフライド、クリストファー・イーガン、ガエル・ガルシア・ベルナル、フランコ・ネロ、ヴァネッサ・レッドグレイヴ

■データ／2010年、アメリカ、105分、ドラマ／ロマンス

■作品紹介／不朽の名作「ロミオとジュリエット」。イタリアのヴェローナにある「ジュリエットの家」には、今も世界から恋の悩みを相談する「ジュリエット・レター」が届くという。ある日、ロンドンに住むクレアのところに1通の手紙が届いた。それは、50年前、クレアが書いたジュリエットへの手紙への「ジュリエットの秘書」なる人物からの返事だった。「ジュリエットの秘書」とは誰か。そして、50年前の初恋を再生させたその手紙には何が書かれていたのか。長い年月を越えて結ばれた真実の恋。

出演は、『マンマ・ミーア』のアマンダ・セイフライド、ヴァネッサ・レッドグレイヴほか。

以下はストーリーです。映画を観る前にストーリーを知りたくない人は読まないでください。

ニュー Yorker 誌の調査員ソフィは、婚約者ヴィクターとともに旅行でイタリアのヴェローナを訪れる。だが、料理人のヴィクターは、間もなく開店する自分のレストランのためにワインや食材の仕入れに夢中。ほったらかしにされたソフィは彼と別行動を取る。ヴェローナには、「ロミオとジュリエット」のジュリエットの生家と言われる家があり、恋の悩みを綴ったジュリエット宛ての手紙が、世界中から年5000通も届いていた。ジュリエットの家を訪れたソフィは、壁一面の「ジュリエット・レター」に目を見張る。やがて、カゴを手にした女性が、手紙を集めて去っていくと、好奇心に駆られたソフィはその後を追う。そこでは、「ジュリエットの秘書」と呼ばれる女性たちが集めた手紙に返事を書いていた。偶然、壁の中に眠っていた50年前の手紙を発見したソフィは、返事を書きたいと申し出る。その手紙の差出人は、クレアという英国の女性。50年前に訪れたイタリアでロレンツォという青年と恋に落ちた彼女は、両親の反対を恐れて1人で帰国してしまったのだ。それから50年、思いがけずにジュリエットからの手紙を受け取ったクレアは、改めてロレンツォを探す

ためにイタリアへやってくる。彼女の想いに感銘を受けたソフィと旅に反対するクレアの孫チャーリーも同行し、3人の旅が始まる。当のロレンツォはなかなか見つからなかったものの、それでも数日間、クレアは旅を楽しむ。3人は次第に互いの人生を語り合い、絆を深めてゆく。しかし、遂にロレンツォは見つからないまま、帰国の時が訪れる。そして最終日、ブドウ畑を通りかかったクレアは目を疑う。不安と後悔、そして期待に揺さぶられるクレア。ジュリエットからの手紙を信じてイタリアを訪れた彼女が、最後に見つけたものとは・・・。

例会候補作品をお知らせください

この1年半くらいの間、観たい映画が少なくなったと感じている人も多いと思います。10作品くらい上映しているシネコンの映画館でも、アニメと子ども向けの作品が多く、大人の観る映画はほんのわずかな状況です。今まで数多くの作品を鑑賞していた人も、観る回数が減ったという話もよく耳にします。

例会選定の会議でも、以前と比べて候補作品が少なく、なかなか前に進まないことも多くなっています。

会員の皆さんの中で、おススメの作品がありましたら、ファックス、メール、例会会場でのアンケートなどでお知らせいただきますようお願いいたします。

1月例会は特別例会

1月例会の『ミツバチの羽音と地球の回転』について、文化庁の上映支援補助金を受けて、前々回『ふたたび swing me again』と同様に、監督をお招きし、一般の入場者も受け付ける特別例会の方式を考えていました。

しかし、残念ながら文化庁の補助金事業に選ばれませんでした。

『ミツバチの羽音と地球の回転』は、『ヒバクシャ世界の終わりに』と『六ヶ所村ラブソディー』に続く鎌仲ひとみ監督の放射能被害、核廃棄物、原子力発電と持続可能エネルギーを問題にしたドキュメンタリー映画3部作の最後を飾るものです。会員の中には、何とか監督をお招きしての上映会を行ってほしいという強い意見もありました。

臨時の運営委員会などで、話し合いましたが、この会の財務状況から考えて、監督をお招きしての上映会を単独で実施することはできないという結論に

なりました。

ただし、福島原発事故に関する問題も続く中、原子力発電と持続可能エネルギーを問題にしたドキュメンタリー映画を観たいという人も多いと考えられるため、当初の計画に近付け、監督をお招きしないが、一般の方も1,200円の料金で鑑賞できる特別例会の形式とすることとしました。

諸般の事情を鑑みた末の結論です。会員の皆様には特別例会となった経緯をご理解いただくとともに、赤字解消のためにも、1月例会については、興味のある方をお誘いの上、ご来場いただきますようお願いいたします。

運営状況

トホホ……………

残念なことに財務状況は少しずつ悪くなっています。約9万円の赤字と考えられます。1月例会は特別例会として、一般の方の入場も受け付ける予定です。

会員の皆さんには、映画に興味のありそうな人に、この会のことをクチコミで宣伝いただきますようお願いいたします。
(事務委員、宮本)

前回例会の報告

9月16日の例会では、イラン映画の『彼女が消えた浜辺』を鑑賞しました。男女の若者たちが、カスピ海の浜辺でバカンスを楽しむ中、その中の女性が溺れて亡くなる事故が起きた、事故か事件か狂言か……。それぞれの人の心理描写、個人の尊厳を大切にイランのイスラム文化など、少し変わった印象を受けるものでした。参加者のアンケートも、絶賛するものもあれば、「なぜそうなったかわかりにくかった」などいろいろでした。

参加者数 107 人。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 162 人(9月16日現在)